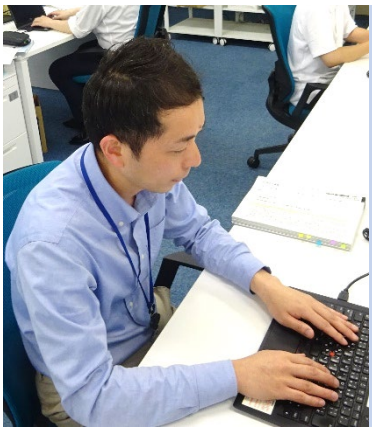
多様な社会を支える、より良い行政の実現を目指して



中国四国管区行政評価局 評価監視部　評価監視官室
上席評価監視調査官

小早川　郁也

平成19年 4月　中国四国管区行政評価局 採用
20年 4月　本省（行政評価局）勤務
25年 4月　本省（行政管理局）勤務
28年 7月　復興庁復興大臣室 勤務
30年 7月　中国四国管区行政評価局総務課 勤務
令和 4年 4月　現職

～ これまでの業務経験を振り返って ～

【20代】

採用1年目は、管区局にて調査業務、行政相談業務に従事し、2年目以降は本省にて主に調査業務に従事しました。

各種資格認定や検査検定事業に関する調査を行った際、申請者の負担軽減の観点から、重複した提出書類の省略などについて所管省庁に改善を求めたところ、一般の方から、煩雑な手続が改善されたとして感謝のお手紙をいただき、自らの仕事が国民の役に立ったことを実感しました。

【30代】

本省で行政不服審査法や個人情報保護法などの改正に携わり、法令実務を経験する中で、法令の重要性、時代に応じた変化の必要性について学びました。また、復興庁への出向も経験し、政府としての復興施策に携わる中で、総務省とはまた違った立場から、行政の役割・目的について、認識を新たにしました。

● これまでの業務の中で印象に残ったエピソード

令和6年1月に発生した能登半島地震を受け、石川行政評価事務所へ応援派遣され、被災者支援のための行政相談業務に従事しました。派遣中は、避難所などで被災者の方から、り災証明や各種支援制度などに関するご相談をお受けしました。国民生活を守る観点から、この経験を今後の業務に活かしたいと考えています。

Q 管区行政評価局の業務のやりがいについて教えてください。
A 特定の行政分野だけではなく、様々な行政分野について、自分が主体的に目、耳で収集した事実を基に、課題を検証し、世の中をより良くできることです。

Q 当局の職員として大事な要素は何ですか？どのような部下と一緒に働きたいですか？
A 世の中をより良くしたいという気持ちを胸に、アンテナ高く、探究心を持つことだと思います。やはり、明るく元気な挨拶ができる方と一緒に働きたいです。

■ 受験生に向けてメッセージをお願いします！

行政評価と聞くと、堅苦しい印象を持たれるかもしれませんが、「なぜだろう？」という素朴な疑問や発想を持つことがとても大事です。熱意ある皆さんとの議論を心待ちにしています。